



Cisco Unified Serviceability の使用方法

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Unified Serviceability へのアクセス \(P.2-2\)](#)
- [Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用方法 \(P.2-3\)](#)
- [Cisco Unified Serviceability インターフェイスの使用方法 \(P.2-6\)](#)
- [アクセシビリティ機能の使用方法 \(P.2-7\)](#)
- [関連情報の参照先 \(P.2-7\)](#)

Cisco Unified Serviceability へのアクセス



ヒント

Cisco Unified Serviceability にログインすると、[Navigation] ドロップダウン リスト ボックスに表示されるすべてのアプリケーションにアクセスできます。各アプリケーションへのログインは不要です。ただし、Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページまたは Disaster Recovery System は例外です。Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページまたは Disaster Recovery System の GUI には、Cisco Unified Serviceability へのアクセスに使用するのと同じユーザ名およびパスワードではアクセスできません。Cisco Unified Serviceability からこれらのアプリケーションにアクセスするには、[Cisco Unified Serviceability] ウィンドウの右上にある **[Logout]** リンクをクリックしてから、[Navigation] ドロップダウン リスト ボックス内のアプリケーションを選択して、**[Go]** をクリックする必要があります。

[Navigation] ドロップダウン リスト ボックスに表示されるいずれかのアプリケーション（Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページまたは Disaster Recovery System 以外）にログイン済みの場合は、ログインなしで Cisco Unified Serviceability にアクセスできます。[Navigation] ドロップダウン リスト ボックスから Cisco Unified Serviceability を選択して **[Go]** をクリックします。

Cisco Unified Serviceability にアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Netscape 7.1 または Internet Explorer 6.0 を使用して、Cisco CallManager Serviceability サービスが動作するサーバをブラウズします。



ヒント

サポートされるブラウザで、**https://<server name or IP address>:8443/ccmservice/** と入力します。ここで、server name or IP address は、Cisco CallManager Serviceability サービスが動作するサーバで、8443 は HTTPS のポート番号です。

ブラウザに **http://<server name or IP address>:8080** と入力すると、HTTPS を使用するようになりダイレクトされます。HTTP は、ポート番号 8080 を使用します。

- ステップ 2** 証明書の入力を求められた場合は、[P.2-3 の「Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用方法」](#)を参照してください。

- ステップ 3** インストール時に入力したユーザ名とアプリケーション ユーザ パスワードを入力して、**[Login]** をクリックします。

ログインする前にユーザ名とパスワードをクリアするには、**[Reset]** をクリックします。



ヒント

System Administrator ロールまたは Technician ロールを持つユーザであれば、Cisco Unified Serviceability にアクセスできます。ユーザにこのロールを割り当てる方法の詳細については、『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』を参照してください。

追加情報

P.2-8 の「関連項目」を参照してください。

Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer (HTTPS) の使用方法

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [Internet Explorer における HTTPS の概要 \(P.2-3\)](#)
- [Internet Explorer を使用した、信頼されるフォルダへの証明書の保存 \(P.2-4\)](#)
- [Netscape を使用した、信頼されるフォルダへの証明書の保存 \(P.2-5\)](#)

ブラウザ クライアントと Tomcat Web サーバ間の通信のセキュリティを保護する HTTPS は、証明書と公開鍵を使用して、インターネット上で転送されるデータを暗号化します。サーバの ID を確認する HTTPS は、Cisco Unified Serviceability などのアプリケーションをサポートしています。また、HTTPS では、ユーザ ログインパスワードは確実にセキュリティ保護されて Web 経由で転送されます。

Internet Explorer における HTTPS の概要

ユーザが Cisco Unified Serviceability に初めてアクセスするときには、サーバを信頼するかどうかを確認する [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスが表示された場合は、次のタスクのいずれかを実行する必要があります。

- [はい] をクリックして、現在の Web セッションでのみ証明書を信頼することを選択します。現在のセッションでのみ証明書を信頼する場合は、信頼されるフォルダに証明書がインストールされるまで、アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。
- [証明書の表示] > [証明書のインストール] をクリックして、証明書のインストールタスクを実行する意図があること、つまり常に証明書を信頼することを示します。信頼されるフォルダに証明書をインストールすると、Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されることがなくなります。
- [いいえ] をクリックして、アクションをキャンセルします。認証は行われず、Web アプリケーションにアクセスできません。Web アプリケーションにアクセスするには、[はい] をクリックするか、[証明書の表示] > [証明書のインストール] オプションを使用して証明書をインストールする必要があります。



(注)

証明書は、ホスト名を使用して発行されます。IP アドレスを使用して Web アプリケーションにアクセスしようとする、クライアントに証明書がインストールされていても、[セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

追加情報

P.2-8 の「関連項目」を参照してください。

Internet Explorer を使用した、信頼されるフォルダへの証明書の保存

Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されることがないように、信頼されるフォルダに CA ルート証明書をインストールするには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Tomcat Web サーバ上のアプリケーションをブラウズします。
 - ステップ 2** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されたら、[証明書の表示] をクリックします。
 - ステップ 3** [証明書] ペインで、[証明書のインストール] をクリックします。
 - ステップ 4** [次へ] をクリックします。
 - ステップ 5** [証明書をすべて次のストアに配置する] オプション ボタンをクリックして、[参照] をクリックします。
 - ステップ 6** [信頼されたルート証明機関] を参照します。
 - ステップ 7** [次へ] をクリックします。
 - ステップ 8** [完了] をクリックします。
 - ステップ 9** 証明書をインストールするには、[はい] をクリックします。

インポートが正常に終了したことを示すメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
 - ステップ 10** ダイアログボックスの右下にある [OK] をクリックします。
 - ステップ 11** 証明書を信頼して、ダイアログボックスが再度表示されないようにするには、[はい] をクリックします。
-

追加情報

P.2-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Netscape を使用した、信頼されるフォルダへの証明書の保存

Netscape で HTTPS を使用する場合、証明書クレデンシャルを表示し、1回のセッションで証明書を信頼する、有効期限が切れるまで証明書を信頼する、証明書を信頼しない、のいずれかを実行できます。



ヒント

1回のセッションでのみ証明書を信頼する場合は、HTTPS がサポートされているアプリケーションにアクセスするたびに、次の手順を繰り返す必要があります。証明書を信頼しない場合、アプリケーションにはアクセスできません。

信頼されるフォルダに証明書を保存するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Netscape を使用して、アプリケーション（たとえば Cisco Unified Serviceability）をブラウズします。

認証局のダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- この証明書をこのセッションのために一時的に受け入れる
- この証明書を受け入れない / この Web サイトに接続しない
- この証明書を永続的に受け入れる



(注) [この証明書を受け入れない / この Web サイトに接続しない] を選択すると、アプリケーションは表示されません。



(注) 続行する前に証明書クレデンシャルを表示するには、[証明書を調査] をクリックします。クレデンシャルを確認して、[閉じる] をクリックします。

ステップ 3 [OK] をクリックします。

[セキュリティに関する警告] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

追加情報

P.2-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Serviceability インターフェイスの使用法

Cisco Unified Serviceability では、トラブルシューティングおよびサービス関連のタスクに加えて、次のタスクを実行できます。

- 単一ウィンドウのマニュアルを表示するには、Cisco Unified Serviceability の **[Help] > [This Page]** を選択します。
- このリリースで使用できるマニュアルのリストを表示する（または、オンライン ヘルプの索引にアクセスする）には、Cisco Unified Serviceability の **[Help] > [Contents]** を選択します。
- サーバ上で動作する Cisco Unified Serviceability のバージョンを確認するには、**[Help] > [About]** を選択するか、ウィンドウの右上にある **[About]** リンクをクリックします。
- 設定ウィンドウから Cisco Unified Serviceability のホーム ページに直接移動するには、ウィンドウの右上にある **[Navigation]** ドロップダウン リスト ボックスから **[Cisco Unified Serviceability]** を選択します。
- 他のアプリケーションの GUI にアクセスするには、ウィンドウの右上にある **[Navigation]** ドロップダウン リスト ボックスから該当するアプリケーションを選択して、**[Go]** をクリックします。
- Cisco Unified Serviceability からログアウトするには、**[Cisco Unified Serviceability]** ウィンドウの右上にある **[Logout]** リンクをクリックします。
- 各 Cisco Unified Serviceability 設定ウィンドウには、ウィンドウの下部にある設定ボタンに対応する設定アイコンが表示されます。たとえば、**[Save]** アイコンまたは **[Save]** ボタンのいずれかをクリックして、タスクを完了できます。



ヒント

Cisco Unified Serviceability は、ブラウザ内のボタンはサポートしません。設定タスクを実行するときは、**[戻る]** ボタンなど、ブラウザのボタンは使用しないでください。

アクセシビリティ機能の使用法

Cisco Unified Serviceability には、ユーザがマウスを使用しないで、ウィンドウ上のボタンにアクセスするための機能が用意されています。このナビゲーションショートカットは、視覚に障害があるユーザがアプリケーションを使用できるように支援するものです。

表 2-1 は、キーボードショートカットを使用してインターフェイスをナビゲートするためのガイドを示しています。

表 2-1 Cisco Unified Serviceability 用のナビゲートショートカット

キーストローク	アクション
Alt	ブラウザのメニューバーにフォーカスを移動します。
Enter	フォーカスされている項目（メニュー オプション、ボタンなど）を選択します。
Alt、上矢印キー	ブラウザのメニュー間を移動します。
Alt + 下線が引かれた文字	メニューに移動します。たとえば、Alt+A の場合は、[Alarms] メニューに移動します。
スペースバー	コントロールを切り替えます。たとえば、チェックボックスのオンとオフを切り替えます。
Tab	フォーカスをタブ順の次の項目、または次のコントロールグループに移動します。
Shift + Tab	フォーカスをタブ順の前の項目またはグループに移動します。
矢印キー	グループ内のコントロール間で移動します。
Home	複数の画面にわたって情報が表示される場合は、ウィンドウの先頭に移動します。また、ユーザが入力したテキストの行の先頭に移動します。
End	ユーザが入力したテキストの行の末尾に移動します。 複数の画面にわたって情報が表示される場合は、ウィンドウの末尾に移動します。
Page Up	1 画面上にスクロールします。
Page Down	1 画面下にスクロールします。

関連情報の参照先

- *Real-Time Monitoring Tool* アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection
- *Cisco Unity Connection* サービスアビリティ アドミニストレーションガイド
- *Cisco Unity Connection* システム アドミニストレーションガイド

追加情報

P.2-8 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified Serviceability へのアクセス \(P.2-2\)](#)
- [Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用方法 \(P.2-3\)](#)
- [Cisco Unified Serviceability インターフェイスの使用方法 \(P.2-6\)](#)
- [アクセシビリティ機能の使用方法 \(P.2-7\)](#)